

(特): 図面及び特記仕様書

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準		摘 要					
								測 定 方 法	測 定 密 度						
13	5	24	2		単体魚礁製作	幅	+20 ~ -10	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全基測定	漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形23-1参照					
						高さ	+20 ~ -10								
						長さ	+20 ~ -10								
						壁厚	±10								
						対角線	100	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全基測定						
						形状型枠寸法		観 察	型枠搬入後適宜						
						ブロック外観		観 察	全 数						
			4			4		沈設	位集中配置 (乱積配置)		配置中心点: ±5,000	GPS及びD-GPS等により測定 (緯度経度公共座標)	魚礁沈設時に全基測定	漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形23-3参照	
									ゾーン配置		ゾーン内	GPS及びD-GPS等により測定 (緯度経度公共座標)	魚礁沈設時に全基測定		
									位計画配置 (相対配置)		±5,000	GPS及びD-GPS等により測定 (緯度経度公共座標)	魚礁沈設時に全基測定		
									高さ		集中配置: + 規定しない - 0 ゾーン配置、計画配置: 重ならないこと。	音響測深器等により測定	集中配置、ゾーン配置は中心点から8方位を測定計画位置は、〈特〉による。		集中配置: 最高部許容範囲
									長さ・幅		〈特〉による。	音響測深器等により測定	集中配置、ゾーン配置は中心点から8方位を測定計画位置は、〈特〉による。		
			3			1	2	コンクリート部材組立	幅・高さ・長さ		+10×部材連数 -5×部材連数	スチールテープ等により測定	全基測定	漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形23-2参照	
									ボルトの取付			観 察	全 箇 所		
											〈特〉による。	締付強度測定	10箇所以上測定		

(特): 図面及び特記仕様書

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準		摘要	
								測定方法	測定密度		
13	5	24	3	1 2	鋼製部材組立	幅	+ 30 ~ -10	スチールテープ等により測定	全基測定	漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形23-2参照	
						高さ	+ 30 ~ -10				
						長さ	+ 30 ~ -10				
						のど厚、脚長、溶接長	〈特〉による。	スチールテープ、ノギス、溶接ゲージ等により測定	〈特〉による。		
						有害な欠陥の有無	〈特〉による。	観察	全数		
						溶接部非破壊試験	〈特〉による。	カラーチェック	〈特〉による。		
					化学系 (FRP等) 部材組立	幅・高さ・長さ	〈特〉による。	スチールテープ等により測定	全基測定		漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形23-2参照
						接続帯の取付け	〈特〉による。	観察	接続終了後、全箇所		
					現場鋼材溶接	形状寸法(のど厚、脚長、溶接長等)	〈特〉による。	スチールテープ、ノギス、溶接ゲージ等により測定	適宜		漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形27-1参照
						ひずみ		目視による観察	全数		
						有害な欠陥の有無		目視による観察	適宜		
					被覆溶接(水中) スタッド溶接(水中)	形状寸法(のど厚、脚長、溶接長等)	〈特〉による。	スチールテープ、ノギス、溶接ゲージ等により測定	適宜		
				外観			潜水士による観察	全数			
				現場鋼材切断 (陸上現場切断)	形状寸法	〈特〉による。	スチールテープ等により測定	全数			
					外観		目視による観察	全数			

(特): 図面及び特記仕様書

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準		摘要		
								測定方法	測定密度			
13 (漁) 第1編共通編	5 一般施工	24 魚礁工	3 組立魚礁組立工	1	現場鋼材切断 (水中切断)	形状寸法	<特>による。	スチールテープ等により測定	全数			
				2		外観	目視又は潜水土による観察	全数				
		25 着定基質工	2 着定基質製作工		着定基質製作	型枠形状寸法 (異形ブロック)	観察	型枠搬入後適宜	魚礁タイプは、13-5-25魚礁工事を適用する。			
					ブロック外観 (異形ブロック)	観察	全数					
		3 着定基質組立工			着定基質組立	魚礁タイプは、13-5-25-3 組立魚礁組立工を適用する。						
	4 着定基質設置工			着定基質設置	位置 計画配置 (相対配置)	±5,000	GPS及びD-GPS等により測定 (緯度経度公共座標)	着定基質設置時に4隅及び変化点。	漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形23-3(計画配置)参照			
					法線	±70 cm						
	5 石材投入工			石材投入	投入位置	±5,000	GPS及びD-GPS等により測定 (緯度経度公共座標)	4隅及び変化点。 但し、外面に困礁がある場合は除く。	捨石マウンドタイプは、13-5-6-4 基礎を適用する。 漁港漁場関係工事共通仕様書(水産庁漁港漁場整備部整備課編集)の様式・出来形24-4参照			
					法線	±70 cm						
					長さ・幅	+2% - 0	音響測深器等により測定	<特>による。				
					長さ・幅	+2% - 0	音響測深器等により測定	各3測線以上				